



令和2年10月20日

蒲刈中学校だより

発行：呉市立蒲刈中学校
文責：校長 柿林 浩彦

第17号

地域探究「となりの町へ行ってみよう」 ～第1学年，豊町御手洗地区に行きました～

10月9日（金），第1学年は総合的な学習の時間の校外学習として御手洗地区に行きました。

今まで「とびしま検定」に取り組みながら，とびしま4島の歴史や魅力について学習してきましたが，実際に御手洗地区に行って歴史や人々の暮らしについて触れてみたいという思いから企画し，実現することができました。

当日は，下蒲刈地域おこし協力隊 角幡 彩様に御手洗地区を案内していただきました。

まずは，御手洗の地名の由来として，平安時代に菅原道真が太宰府に流される途中にこの地に立ち寄り井戸水で手を洗ったことから「御手洗」と言われるようになったという興味深い話を聞くことからスタートしました。その後，住吉神社の本殿へのお参り，千砂子波止の「鶴と亀」の探索，「足長小学生の看板」での記念撮影など順調に学習は進みました。

そして，御手洗の町並みの散策では，昭和を彷彿とさせる看板やポスターなど昔の懐かしい雰囲気を感じていました。駄菓子屋，床屋など興味津々で，特に日本で最も古い時計店と言われている新光時計店は1858年頃から店を始められ，140年以上動き続けている柱時計もありました。

恵比寿神社や天満宮もお参りしましたが，一番のお楽しみはカフェ「The Tea Cosy」でのデザートだったようで，アイスクリームは「濃厚でストロベリーの果肉もあって美味しい。」，スコーンは「外はサクサクして中がふんわり。チョコとバナナとクリームがたっぷり挟まれていて美味しい。」の感想が聞かれました。地域の歴史や魅力を知るとともに，生徒同士の親睦が一段と深まった思い出に残る一日となりました。角幡様，ご案内いただきありがとうございました。



職業講話を行いました

～第2学年、社会人の方のお話を聞きました。～

10月13日（火）・14日（水）の2日間、2年生は総合的な学習の時間を使って、様々な企業の方からお話をさせていただき職業講話を行いました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、キャリア・スタート・ウィーク（3日間の職場体験）を行うことができませんでしたが、今回、社会人の方によるキャリアに関するお話を直接お聞きすることによって、生徒自らが将来に対する目的意識を高めたり、これからの生き方について考えたりすることに資する内容となりました。

講師として、新広島トラベル株式会社 花岡 聡史様、蒲刈物産株式会社 石井 裕和様、株式会社IHI 呉事業所総務部 和気 治様、公益財団法人蘭島文化振興財団松濤園学芸員 小川 英史様・土井 基子様 の4社5名の方にご協力いただきました。現在の職業に就職した理由、やりがい、苦労、大切にされていることなど、社会の第一線で活躍されている方々ならではの職業観や勤労観など貴重なお話を聞くことができました。本当にありがとうございました。

生徒たちは司会進行・案内・お礼の言葉などの役割を担い、臨機応変に対応しながら、講師の方のお話を真剣な表情でたくさんのメモを書きながら聞いたり、積極的に質問したりすることができました。

また、振り返りでは、「講師の先生の職業に対する熱い思いを感じる事ができました。」などが見られ、将来の進路やこれからの生き方を考えるための良い機会にすることができました。



受験に向けても食生活を見直しましょう

～第3学年、石丸栄養教諭による食育指導～

3年生の学活で「成長期の栄養 受験に向けて」をテーマにした食育指導を10月12日（月）に行いました。最初に食生活アンケートを行い、アンケート結果をグループに分かれて交流しながら普段の様子を振り返りました。石丸栄養教諭は、「受験期は就寝時刻が遅くなりがちで、時には夜食を食べることもある。」「部活が終了して運動不足やストレスから過食になることもある。」など、食生活の特徴について話されました。

その後、受験に向けてこれからの食生活で心がけていきたいことを話し合い、各グループの発表では「早寝（遅くとも当日中には寝る）、早起き（6時過ぎには起きる）、朝ごはんは必ず食べる。積極的に体を動かす。間食は控えめにする。」などの意見がありました。

受験に向けて、食生活を見直して受験当日を迎えてほしいと思っています。

